「横断歩道“SOS”の日」の話

総務課　福島　秀明

最近、アクセルとブレーキの踏み間違いによる交通事故、私は犯罪だと思っていますが、飲酒運転による事故、「あおり運転」による事件や事故等の交通事故が頻繁に起こっています。それらも大きな問題ですが、私が一番気になっているのは、横断歩道上で起こる交通事故です。

歩道を歩いていたり、横断歩道を渡っていたりしている幼児や小学生の列に自動車が突っ込むという悲惨な事故が何件もありました。歩道や横断歩道は歩行者を守る為にあると思っていましたが、このような事故の話を聞くと、安心して外を出歩けません。

JAF(一般社団法人　日本自動車連盟）の2018年の調査によると、信号機の無い横断歩道で一時停止する自動車の割合は、全国平均で僅か8.6%しかありません。一番停止率が高いのは長野県で58.6%ですが、三重県の停止率は1.4%と著しく低く、全国ワースト3に入っています。恥ずかしい話です。

この調査を受けてという訳ではないと思いますが、三重県警察は毎月11日を「横断歩道“SOS”の日」と設定し、横断歩道を通行する車両や歩行者の交通指導、広報啓発活動を重点的に行う日としました。

道路交通法　第38条　第六節の二　横断歩行者等の保護のための通行方法（横断歩道等における歩行者等の優先）を要約すると、

①歩行者の有無を確認できない場合は、横断歩道の停止位置で停まれるような速度で走行する。
②横断しようとしている、あるいは横断中の歩行者や自転車がいるときは必ず停止する。
③横断歩道内やその手前30mは追い越しや、追い抜きは禁止
等が規定されています。

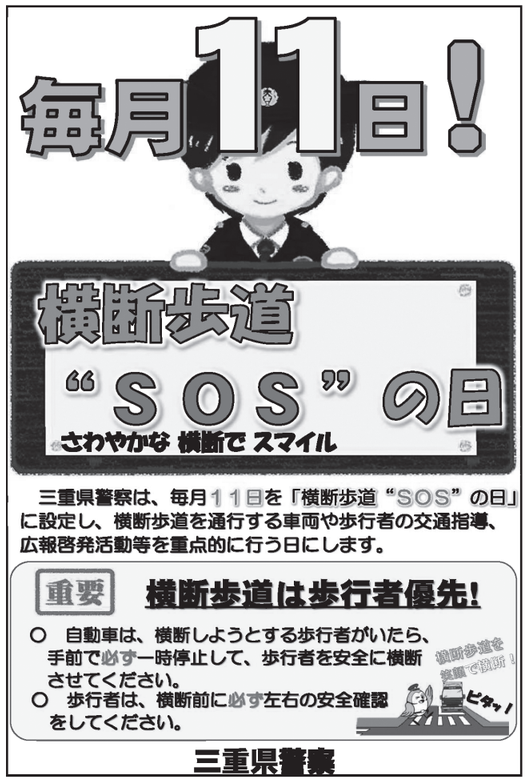
横断歩道は歩行者が優先です。横断歩道を渡ろうとしている歩行者がいる場合は、自動車は横断歩道の手前で一時停止し、歩行者の通行を妨げないよう義務付けされています。違反した者には、反則金や違反点数が科せられる事になります。

自動車で走っていると、道路に白いひし形（◇）の印が標示されている所があります。このマークの意味を知っているでしょうか。このマークは、この先に横断歩道または自転車通行帯があります、ということを知らせるマークです。一つ目の◇印はこの先50mに横断歩道があります、二つ目の◇印はこの先30mに横断歩道があります、という道路標示です。

運転者は、◇印に気が付けば、この先に横断歩道があるということを意識しなければなりません。必ずしも見通しのよい道路ばかりではありません。カーブを曲がった先に横断歩道がある場合もあります。歩行者が渡っているかもしれない、渡ろうとしている人がいるかもしれないと意識して、いつでも停まれるようにスピードを落とさなくてはいけません。歩行者が横断中や、横断しようとしている人がいる場合は、横断歩道の手前で停止し、歩行者の横断の妨げにならないようにしなければいけません。

信号の無い横断歩道やその手前に駐停車された自動車がある場合には、その自動車の前方に出る前に必ず一時停止をして歩行者がいないかの確認が必要です。

自動車は便利な道具ですが、一つ間違えば、人を傷つけ、命をも奪ってしまう凶器になります。取締りのある時だけ安全運転では意味がありません。運転者は安全運転を意識して、常に周囲に気を配り、交通ルールやマナーを守って思いやり運転に心がけ、交通事故を起こしてはなりません。あなたの意識次第で交通事故は無くせるのです。



参考
三重県警察本部ホームページ　https://www.police.pref.mie.jp/
JAF(一般社団法人 日本自動車連盟)ホームページ　http://www.jaf.or.jp/

橋本のつぶやき

車を長期間動かさない人の注意点は意外に知らないことが多いですねー タイヤが変形する、ガソリンが腐る（酸化する）ということはあまり知られていないのではないでしょうか？ 私も換気をするとは気にしておりませんので、少し気にかけて実行してみたいと思います。多少のことなら自分でエアコンフィルターの掃除もできるようですし、フィルター掃除に挑戦するか、サザミさん（出し）掃除でもしてもらいます～(笑)

横断歩道SOSの日：そんな日があるなんて知りませんでした！いつの間にできたのでしょう？ SOSは「さわやかな 横断で スマイル」の頭文字をとったもので、歩行者とドライバー双方のマナー向上を願って考案されたそうです。三重県はワースト3位ですが、ワースト1位は栃木県0.9%、ワースト2位は広島県の1.0%ですがしかしながらこの数字を見ると全国平均の8.6%もかなり低いものだと感じますね。横断歩道での一時停止率が1番高い県は長野県ですが、2位は静岡県の39.1%、3位は石川県26.9%となっています。私も 横断歩道での一旦停止 を少しでも頭に置いて運転するように気を付けます。

長い間、車を放置していませんか？

ホームガス課　谷　晃

通勤や買い物など、普段から車を動かしていれば良いのですが、あまり頻繁にクルマに乗らないという人も少なくないのではないでしょうか？　サンデードライバー（日曜日のみ運転）程度は問題ないにしても、趣味のクルマや単身赴任で愛車はそのまま置いていくという方もいらっしゃると思います。最近のクルマは少々放置しても、何事もなかったかのようにエンジンはかかるのですが、放置することでトラブルが発生することもあるのです。今回はそんな車を動かさない人が注意すべきポイントを5点ご紹介したいと思います。

① タイヤ

まず、問題になるのがタイヤです。放置すると同じ場所に力がかかり続けるので、そこだけ平らになってしまう、いわゆるフラットスポットができてしまいます。そうなると元には戻らないので、4本とも交換ということに…。

対策
- **空気圧を高めにしておく**
- **定期的に少しでもよいので動かして、一定の場所に力がかからないようにする**

② ガソリン

そしてもうひとつ重大なのが、ガソリンが腐ってしまうということです。ガソリンが腐ること自体意外に思うかもしれませんが、半年ぐらいから劣化が始まります。腐るといっても実際は酸化して酢酸などに変質するので、色は緑色になって、強烈ななんとも言えない刺激臭がします。

対策
- **定期的に給油をする**
  少々の劣化ならエンジンはかかるので、新しいガソリンを入れる（アイドリングでの振動がひどかったりはします）完全に腐りさえしなければ復活します。完全に腐ってしまうとインジェクションに変質物が溜まって始動困難になってしまうので、その場合は分解をしたり、新品への交換などかなり手間はかかるので、やはり完全に腐らせないようにしなければなりません。
- **走らせずにエンジンをかける**
  走らせなくてもエンジンをかけるだけでも効果があります

③ 換気

そのほか、車内の換気も必要です。特に湿気がこもると、雑菌が繁殖するので悪臭の原因になります。シート内部のスポンジなどにカビが生えることもあるので気をつけたいところです。

対策
- **定期的にドアや窓を開けて換気するとともに、普段から湿気取りなどを車内に置いておく**

④ サイドブレーキの固着回避

ほかには、サイドブレーキが固着することもあるので、長期間引きっぱなしにするのは避けましょう。

対策
- **輪止めを使って動かないようにする**

⑤ バッテリーの充電

バッテリーは、暗電流と呼ばれる微量の電気が常に流れているので、長期間放置すると上がってしまいます。

対策
- **定期的に充電をしたり、ソーラーバッテリーをつなげるなどしておく**
  可能なら1カ月に1回は動かしてまとまった距離を走り、給油も実施しましょう。さらにエンジンをかけるだけでも2週間に1回は行えるとベストです。

また、上記5点は中古車についても同様のことが言えます。中古車は長期間全く動かしていない可能性もありますので、注意が必要です。